

部局名	消防本部	所属名	消防署	所属長名	岩井 精一	電 話	458-0119 内線100
-----	------	-----	-----	------	-------	-----	----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3363		事務事業名称	救急活動事業					短縮コード	経常	3363	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	09	消防費	項	01	消防費	目	01	常備消防費	
区 分	☐ 自治事務 ☒ 法定受託事務 ☐ その他				根拠法令等		消防組織法，消防法，消防力の整備指針						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
消防組織法第1条，消防法第1条に基づいて救急業務を実施している。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測					総合計画の施策体系	6本の柱（章）	04	第4章安心安全都市をめざして					
本市の人口は毎年増加傾向にあり，人口増加に比例して救急出場件数の増加が今後も見込まれます。 消防庁は，厚生労働省と共同で「救急救命士の業務のあり方等に関する検討会」を開催し，更なる救急救命士の処置拡大が検討されています。 東日本大震災以降，救命（命の大切さ）に対する意識が，今まで以上に高まっています。						大項目（節）	02	第2節市民の安全					
						中 項 目	02	2. 消防					
						小 項 目	03	(3)救急・救助体制の充実					
						細 項 目	01	①救急・救助体制の整備					
03	③医療機関との連携強化												
					実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無				☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	原則として市内で発生した傷病者。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： 救急出場件数は8，061件でした。このうち医療機関に搬送した傷病者は7，388人で，救急搬送患者全員に応急手当を実施しました。 救命率の向上のための救急隊訓練を実施しました。							
	※平成24年度に計画していること： 万全な救急体制を維持し、救急要請のあった全ての救急事案に出場します。 いざという時に「人の命を救える」知識と技術を持った人間の育成をするため，市教育委員会・全中学校と連携し，全校で授業に「3年生全生徒の救命体験」を取り入れていただき実施します。 複雑多様化する救急事案に対応した想定訓練等を実施します。							
意図 （何を狙っているのか）	救急出場時における傷病者のニーズは様々であり，個々のニーズに対し適切な応急処置を実施し迅速に医療機関へ搬送すること。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	出場件数	件	7,806	8,600	8,061	8,300	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	搬送人員	人	7,122	8,000	7,388	7,600	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	出場から現着までの時間（分）	分	8.6	8	8.7	8	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

